

公共施設をもっと地域のために使いやすく！

－宮前区地域デザイン会議－

令和4（2022）年12月10日（土）14:00～16:30

区内の事例紹介：向丘出張所の活用

交流スペース・むかおかフェ実行委員会 川田 和子さん

00:00:04

交流スペース・むかおかフェ実行委員会 川田和子さん

- 皆さんこんにちは。私の方からは今向丘出張所のほうを使わせていただいて活動しております。どうしてこうなったかという経緯をお話しますと、向丘の連合自治会の副会長をやっておりまして、事業協力推進委員会というものを持っております。
- そこで地域に向けて色々活動していくところでございますが、この頃ですね、宮前区のほうで、皆さんご存じだと思いますが、自分たちで開催するカフェというのが50以上あります。これは本当に自分が歩いていけるところで、皆さんと楽しくお話ししたり、色々な情報をいただいたり、悩みを相談したり、そういうところになっているんですが、これが本当に区役所に来なくても歩いて行けるところで、そういうものがあるというのが非常に有効だと思いました。

00:01:05

- それで、できたら自治会や町内会なんかで、そういうものを1つずつでもいいからつくってほしいという希望がありまして、それにはどのようにしたらいいのかっていうのは、会長さんたちも分からないと思うので、向丘出張所をつかってそのモデルとなるカフェを開こうということになりました。
- 2019年ぐらいに全会長たちに来ていただきまして、なるべくいろいろな自治会から協力者、スタッフになる人をということで募集をいたしました。
- 2020年、ちょうどコロナが始まった時ですけれども、コロナが始まりましたけれども、一応計画しておりましたので、8月にはスタートいたしました。ただ、時期が時期ですので、本当にここ2年ぐらいは行政職員、それから包括支援センターとか、そういった専門の機関の方達ばかりだったんです、来たのは。
- でも、それはそれでいいと思ったんですね。よく皆さんもおっしゃると思うんですが、区役所、横のつながりがないということを書いていたと思うんです。だから、そこに来て、例えば地域の方と何かをやる部署っていくつかあるんですけども、そちらの人たちがやはりつながっていくことが、私たちにとってはメリットがあることなので、そこに来て違う部署でも、そこで顔を合わせてお茶を飲みながらお話をさせていただいてつながっていけばいいな。それが私たちにとっても先々いいことになるんじゃないかなと思っておりました。

00:02:41

- 今年に入りまして、結構皆さん「むかおかフェ」の存在がわかっていらっしゃって、今は非常に住民の方たちが多いです。もうほとんどそんな感じで9割方、住民の方たちが来ていただいてやっております。
- 連合自治会で始めたんですけれども、場所が出張所ということがありまして、これ公共の施設ですので、一つの団体があまり強いイメージを持ってしまうと、結構柔軟な取組ができないということがありましたので、このむかおかフェ実行委員会というものを立ち上げました。実行委員会にしちゃったんですね。
- そこで、それでも連合自治会がバックアップしてくださっています。
- こちらの事務局が 出張所ということもありますので、共に一緒にやっていく。
- 自治会町内会ってというのは、行政と共に環境づくりを、まちづくりをしてきておりますので、そういう面では一緒に自分たちの得意なところを出し合いながらやっていく取組にしていきたいと思いまして、実行委員会になったわけですね。

00:04:14

- [写真] 右の方ですね。やっぱりコロナのことがありましたので、そののところにしっかりと対策を立てて入っていただきます。
- カフェって言うと、例えば 100 円いただきますとかあるんですが、出張所・区役所なんかの場合は金銭をいただくということはだめなんですね。対価を得ていけないというのがありますので、これは地域活性協力金という形で気持ちがある方はどうぞここに入れてくださいということで、そのお礼としてドリンク券を差し上げますという形にしています。ですから、お茶飲みたくないという方は別にいれなくても全然構わないというところは自由でいいと思います。
- 左の方がカウンターになっています。
- 今、こういうふうにして、本当に住民の方たちが来ていただいております。こんな感じですね。

00:05:08

- 皆さんから見て左側、今オカリナを吹いてるんですけれども、これ向丘出張所の地域活動支援コーナーで、毎週練習してくださってるグループ「オカリナぽっぽ」さんというところがあるんですが、なかなかこのコロナ禍でいろいろ発表する場がないということなので、じゃあここで 30 分ほど時間を差し上げますので、ここでやりませんかということで、ミニステージを急遽つくりまして、ここで発表していただいています。非常にオカリナの音色がとても好評です。
- 右の方ですけれども、保健師さんが今お話しているんですね。この地区カルテというのがありますよね。その地区カルテのことを私たちみたいに [今日の会議のような場や機会に] 来る人達は耳にしているんですけれども、本当にちょっとぷらっと寄りましたという方って結構知らないんですね。
- これで地区カルテのお話をしてくださっています。

00:06:05

- あと左側ですね。あれは区役所に実習生の方が見えまして、実習生の研修ということで、皆さんの前

でいろいろお話ししておりますので、そういう時間もつくります。

- こちらの右の [写真] ですけれども、介護福祉施設の方でなかなかショートステイなんかに来ることができない。だけど、ちょっと認知も低下してしまう心配もありますので、おうちでこういう作品をつくってたくさんあるんだけど、それを処分するのはもったいないという施設職員のお話がありまして、じゃあここに持ってきてお好きなものをどうぞ持ち帰ってくださいということで、そういったものはここに置いてあります。

00:06:59

- 左側、本なんですけれども、これも皆さん持ってきてくださった [本を]、どうぞお好きな [本] を持ち帰ってください。このところに持ってくるのは、みんな無料で持っていただくものになります。今小さいお子さん連れたママさんが絵本を読み聞かせをしたりしていますけれども、ああいふふうにしてやっています。
- 右の方は、メロコス体操なんですけれども、実はこの時にメロコスのバックを応募したらいただけるというときがあったんですが、ほしいねってということで急遽そこにいた人たちでメロコス体操をやりました。応募して皆さんにお配りしました。

00:07:50

- 左側なんですけど、参加してくださった方がお一人で見たんですけども、手作りが好きだということをスタッフの人が聞きまして、手作り作品を持ってきてくださったんですね。それは誰でも作れるようなものだったので、じゃあ今度材料用意するので、来月のカフェでやりませんかということで、こちらのコーナーを急遽つくりました。
- そういう面ではなかなか、「そんな人様に教えることじゃないけど」とおっしゃっているんですけども、ちょっと背中を押してあげることで、本当にその方もすごくいい表情でやってくださいましたし、皆さんもかなり好きなんですよ、何かをつくるということが。皆さんたちも取り組んでくれました。
- 右が、折り紙を順番で一応、見本として折ってありまして、この通りにやると、これができますよというのを置いたりしています。

00:09:00

- それで今こちらなんですけども、実行委員会で、「むかお暦」というのをやっています。
- これは1年の催事ですね。いろいろな日本の文化の行事であると思うんですけども、これを子どもさんたちに伝えていきたいし、高齢者の方でも懐かしいと思ってくれる気持ちも持っていただきたいということで、じゃあ1年間通してやっていこう。向丘出張所に飾らせていただくということで始めました。
- 最初に始めたのがお雛様です。7段飾りとか3段飾りとかありますけども、7つあるんですね。今見えているのは4つ。その向こうに平らに置いているのがありますから、それで5つあって、[手前]にもあるんですけども、こうやって [出張所に] 入ってきた時にすごいなって思ってくれるような感じで配置しております。

- [写真右] が5月の方ですね。
- [写真左のお雛様] は、一応お借りしています。地域の方に声を掛けて持ってらっしゃる方、ここに貸していただけませんかということで、お借りしたものです。ですので、この期間はスタッフが必ず付いているようにしております。これを返すことができます。
- こちら[写真右] はですね、スタッフが付いていれなかったので、私たちが準備したものです。それから、こちらの方の吊し雛は5月人形用に地域のお得意な方につくっていただいて、飾っております。

00:10:52

- むこう [写真左] が7月になりますと七夕ということで、七夕飾りをやってみていただいたんですね。
- これは外側ですけども、あとは中側なんかに飾っております。こういった竹なんかも地域の方たちから提供していただいたりとか、あとは飾り付けには地域の方に来ていただいて一緒に行ったりしております。
- また、保育園のお子さんたちもよく訪れるらしいので、そういった方にも中に短冊に書いていただけてつるしていただくコーナーがあります。
- 結構たくさんありますので、それちょっと廃棄はできないので、今度どんど焼きみたいなのをやる自治会があったら、そちらの方で焼いていただこうかと今取っております。
- こちら [写真右] が9月ですね。これが十五夜ということで、やはり地域の方で手作りがお好きな方にもお団子もそうですし、みんな手作りでつくっていただいております。
- 小さいうさぎちゃんも綿から作っております。この頃 [時期] ってなかなかすすきってないんですね。何とか調達しています。

00:12:02

- そしてこちら [写真左] ですけれども、じゃあ秋は何をしようか。収穫祭の時期ではあるんですけども、なかなか収穫祭というところちょっと思い浮かばなかったものですから、職員の方からアート展なんかどう？ってということで話をいただいたので、それに向けて皆さんで話し合いました。
- 一応地域の方達で、プロの方も1名はいらっしゃいますけども、あとは皆さん方がお得意として趣味としてやってらっしゃる方なんですけれども、非常に素晴らしい作品ですね。
- こちら [写真右] の方はですね。アトリエ言の葉さんという障がい者の方達がつくっているもの、描いてくださってるものなんですけども、非常にレベルが高くてびっくりします。

00:13:00

- 左の [写真] もあれちぎり絵なんです。最初油絵かと思ったんですけども、ちぎり絵でやってらっしゃって、これ五所塚の方なんですけれども。そういう面ではすごく見応えのあるものが集まってきました。やっぱり地域の人たちは仕事にはしてないんですけども、本当に素晴らしいものを作っている方がたくさんいるというのが分かりました。
- マルシェにしてもそうですよね。子育てをしながら、手作りがお得意で、手作りをやっている方達がいる。それを対価の得るものに繋げていく。今、それができてきているのかなと思うんですけども、

結構知らないところで色々な方達がいるってことが分かりました。

- 12月になりますと、クリスマスということで、クリスマスの場合は飾り付けだけやっています。昨日タウンニュースにも載っていたんですけども、こちら [写真右] のタペストリーは清水台団地自治会の清水台カフェの方が作って下さって飾らせていただいております。
- こうして1月はこれからお琴をやったりとか、そうやって1年間のサイクルを実行委員会で話し合いながらやっています。

00:14:12

- もちろん出張所でやるってこともありますから、そういう面では行政と共にお互いができないところをお互いが補足しながらやっていく。それから、公共性のあるもの、1つの団体に留まっていけないので、地域に広く広げていく。そして受け入れて行く。これが基本になっていくのかなと、公共施設を使う場合はそう思っています。
- 学校も公共施設だと思うんですけども、今日、小学生の防災教室をやってきたんですけども、そういう意味でも、本当に学校も公共施設として、非常に地域の拠点として使えるんじゃないかな、と思っております。
- 以上です。